

差出人： メールニュース／b-active 株式会社
件名： 【セルフ・キャリアドック情報 –No.025–】

※本メールは、b-active にメールマガジン配信のご登録をいただいた方、協会の講習会にご参加の方、および名刺交換をさせて頂いた人事の方や企業分野のキャリアコンサルタントの方にお送りしております。もしも、ご意向に沿わない場合など「配信停止」をご希望される方は、お手数ですが最下段の「★配信停止をご希望の方はこちら」からお願いいたします。

メールニュース会員 各位

みなさんこんにちは！キャリアコンサルタントの植村格明（うえむらまさあき）です。「企業分野」でキャリアコンサルティング活動をされる方々のサポート機能として、少しでもみなさまのお役に立てればと思います。

【セルフ・キャリアドック情報】

新型コロナウイルス対策の「緊急事態宣言」が解除されてから、早いもので1か月余りが経ちました。みなさまの暮らしやお仕事の状況はいかがでしょう？

昨今「新たな日常」への道筋を探るべく、新聞紙上では「在宅勤務継続実施」や「メンバーシップ型からジョブ型雇用制度へ」、「タッチレス社会、新たなオンラインでの働き方」など、企業に「新たな働き方」を提言する記事が日々目に飛び込んで参りませんか。

一方ネット上では、在宅ワークに関するリサーチ結果が続々と発信されており、「在宅ワークの継続希望が80%も」や「会社の今後に大いに不安を感じる社員 60%」など、働く個人が「自身の真の働きがい・キャリア」を考えることが大変重要なときです。

私なりの捉え方ですが、「多くの個人が在宅ワークを経験した」結果、「良かったので継続したい」という個人が大半を占めているようで、その理由は「通勤ストレス軽減」や「ワークとライフのバランス」、つまり「自分らしく働く」選択肢が増えた訳です。

趣味のサーフィンでも、最近平日の朝で波のコンディションが良い時は、混雑することが増えました。「あれ今日休み？」と聞くと「在宅だから。前ならいま通勤時間（笑顔）」

つまりそれは、働くことへの向き合い方の変化の出発点で、一人ひとりそれぞれ感じ方が違い、自分らしい「真の働きがい」を考えるきっかけになっているのではと思います。

そして企業側はというと、一部に「積極的に在宅ワークとジョブ型評価を導入する企業」が現れてきて、「元の多様性に欠けた働き方に戻ろうとする企業」との間に、企業ごとの「働き方の広い幅」ができつつあり、これも個人の選択肢の拡大です。

勿論、在宅ワークで生産性を向上させるためには、個人の「働く時間の管理」から「働いた結果の成果管理」へと、その評価軸と組織の意識を大きくシフトさせることが必須となり、同時に成果が出せる社員個人の能力開発・成長支援がその鍵です。

まとめてみますと、

個人は「出社型」「時間制」「会社色」「滅私奉公」から、「リモート併用型」「成果制」「自分色」「キャリア自律」への移行。

企業は「就社」「メンバーシップ型」「職能主義」「一斉行進」から、「就職」「ジョブ型」「成果・成長主義」「ダイバーシティ」への移行でしょうか。

最後に、ポジティブ心理学の「幸せ」の捉え方について。「マスクでのラッシュ通勤も我慢をして毎日出社すれば、必ず良い結果が出ていつか幸せになれる！」と「週〇日は在宅ワークで自分らしく楽しく働いて幸せな日々だから、結果もどんどん良くなる！」

みなさまは、どちらでしょうか？

——— キャリアコンサルタント国家資格【更新講習】受講をご検討のみなさまへ ———

<9月度は「オンライン講習」で開催します>

【技能更新講習】セルフ・キャリアドック「ワークショップ実践」コース（6時間）は9月19日（土）

【技能更新講習】セルフ・キャリアドック「面談実践」コース（6時間）は6月26日（土）に開催します。

お申込みは b-active ホームページ <https://www.b-active.co/lecture> でお待ちしております。

☆最後まで読んでいただき、本当にありがとうございます。

一人ひとりの「働きがい」「生きがい」と共に / すべては対話から

b-active 株式会社 www.b-active.co

Copyright© 2020 b-active Inc.